

市長との懇談会の議題（案）

平成23年5月23日

スポーツ推進委員協議会

1. 体育会、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブの問題点と改善方法

問題点

縦割りによる問題点（地区の生涯スポーツ関連として）

- ・ 予算の在り方が異なる
 - 税金など補助金で行うもの 公民館主催講座、健康運動教室等々
 - 自治会などの負担金で行うもの 地区体育会の大会
 - 参加者の受益者負担でおこなうもの 総合型地域スポーツクラブ
- ・ 人や場所や日程の重複 費用対効果の減少（参加者の分散）

地区体育会の在り方（存在意義）が問われている

- ・ 地区社協、まちづくり、包括支援センターなど環境が変わってきている（多くの体育会が、予算が減少又は、0になっている）
- ・ 若い人たちが、地区体育会の行事に参加しない

施設の利用の問題（無駄と不公平感）

- ・ 地区の人たちが使えない状況が、発生している
- ・ 少ない人数で利用したり、年間の半分近くを利用しなかったりがある
- ・ 公民館や学校は無料で、総合体育館や北部体育館、高校の体育館など有料（既存団体が無料の施設を継続的に且つ、複数回利用している事も多い）

スポーツ推進委員のなり手が不足している

- ・ 活動する人を委嘱する事を検討
- ・ スポーツ推進委員のアピールを行う方法を検討

総合型地域スポーツクラブへの取組と方向性

- ・ 行政主催の無料講座との競合では、自立が困難である
- ・ 一般団体と同じ扱いの施設貸出では、会員の増加が困難である
- ・ 宮崎市も推奨している様な姿勢が市民に見えると会員増につながる
- ・ 取組によっては、医療費削減への期待が大いに出来る

スポーツ基本法に準じた、今後の取組の検討

- ・ 国の目標に対する対策・・・スポーツ人口のアップなど
- ・ 国の補助金の確保・・・大会費用や施設整備等

地域の子ども達のスポーツ離れへの対策

- ・ 子ども会などの低迷
- ・ スポーツはやりたいけど、入れない（親の送り迎えの負担や、練習回数のやり過ぎのチームがほとんどのため）